

No.	申請団体/個人	事業名	開催日・会場	事業内容	総経費	助成決定額
1	ゼーロンの会	ゼーロンの会 演劇公演「HAMLET」	令和5年10月8日(日) 菊池松囃子能場	ウイリアム・シェイクスピア作「ハムレット」は演劇史上最も謎と刺激と疑惑に満ちた作品であり、また上演される時代の様相を否応なく映し出してしまう冷徹な鏡でもある。この度、その不朽の名作を、300年の歴史を刻んだ菊池松囃子能場において、オリジナル曲のヴァイオリン生演奏とともに上演する。本事業は現代演劇の可能性の追及のみならず、菊池松囃子能場活用の可能性の拡大、さらには能場近辺の活性化に寄与するものとなる。	735,750	100,000
2	音の和music	「こもりうた3」発売記念 音の和コンサート～世界の民族楽器と天の唄～	令和5年12月6日(水) 熊本市男女共同参画センターはあもにい	熊本を拠点に全国各地で演奏活動を続ける夫婦ユニット「音の和music川原一紗◎藤川潤司」の音楽コンサート。世界の民族楽器と歌とピアノで豊かなハーモニーを奏でる。ゲストに作曲家でピアニストの「志城慶香」さんとピアノとハープ奏者の「木村光里」さんを迎える。2023年に発表した「こもりうた3」のアルバムの中から、世界と日本の民謡、歌曲を新しいアレンジでお届けする。オリジナル曲も織り交ぜ、登場する楽器を紹介しながら演奏を進める。音楽で世界旅行をしているかのような楽しめるプログラム構成。	550,000	50,000
3	NPO法人くまもと漱石文化振興会	SOSEKIチャレンジングアワード2023 ～「漱石文学のその後を綴ってみませんか！創作物語」作品募集～	令和5年10月～令和6年2月 令和6年2月末肥後銀行本店2階大会議室(公開審査)	小説は様々なドラマを抱えながら終わることから、読者の想像力で「漱石の小説」のその後を描いた作品を全国から募集する。漱石文学への親しみと関心を高め、さらに熊本の漱石文化遺産について情報発信する取り組みとして実施する。令和5年10月1日～12月25日『草枕』『三四郎』『二百十日』『吾輩は猫である』『こころ』の中から一作品を選んで原稿用紙3～5枚程度に物語のその後を綴った創作作品を全国から募集。令和6年1月一次審査(13作品選考)。2月末公開審査。	1,045,000	100,000
4	劇団「市民舞台」	劇団「市民舞台」公演「クッキー・ハート」	令和5年12月9日(土)・10日(日) 熊本市男女共同参画センターはあもにい 多目的ホール	劇団内の若手による積極的なチャレンジとレベルアップを目指した公演を行う。若手演出家の育成及び舞台機構を学ぶ機会とし、役者・スタッフ共に様々な劇場での公演に対応できる人材を育成する場として演劇公演を開催する。演者の表現スキルを磨き演技力を高める。熊本の演劇人が劇団を越え、年齢も様々なに広く出演することで、お互いに刺激を与え合い、若手に限らずベテランにとっても更なるステップアップの機会となることを期待している。	764,500	100,000
5	Casa de arteカサデアルテ芸術の家	熊本の子供たちに贈るバレエの宝石箱No.10	令和6年1月6日(土) 熊本市男女共同参画センターはあもにい メインホール	熊本地震の後、私達熊本を拠点とするダンサーは、熊本の子供達のために何か出来ることはないかと考え、バレエの公演活動を定期的に行っている。今回は、第10回目となる。演目は、バレエ「海賊」短縮バージョン全3幕、ナレーション付き。宝石箱で修業を積んだ若者ダンサー達は、プロになったが、この公演のために舞台に立つ。ベテランの先生方をはじめ、今回はプロを目指す高校生ダンサーも数人出演する。物語の展開をわかりやすくするため、プロジェクションマッピングの映像もお楽しみいただく。	1,320,000	100,000
6	天草小唄ものがたり制作実行委員会	「天草小唄」誕生90年・国立公園天草編入運動開始90年記念 音楽劇 天草小唄ものがたり 幻の歌手 横田良一	令和6年1月20日(土) 市民会館シアーズホーム夢ホール 大ホール	天草出身の横田良一は、昭和6～9年に活躍した歌手である。100曲余を吹き込み、10本の映画主題歌を唄ったが、24歳で早世。以後全国的には「忘れられた歌手」となった。その横田が天草を全国に知らしめたいと自ら企画し、歌ったのが「天草小唄」である。国立公園運動のPRソングであり、天草各地の風情と歴史を織り込んだ「天草小唄」は今も歌い継がれている。「天草小唄」発表90年にあたり、横田良一のはかなくもドラマチックな生涯を音楽劇として制作。横田良一の顕彰はもとより、天草の自然風土、歴史や文化の魅力を県内外に発信し、さらに出身者も含め天草の人々、とくに若い世代に「歌の力」でエールを送りたい。	10480000 (3公演合計)	300,000
7	ボランティアグループ あめつち	(アーカイブ写真展)NOT PERMANENT BUT PERMANENT ー東儀一郎視点の坂本ー	令和5年12月23日(土)～令和6年 2月25日(日) 熊本市現代美術館ギャラリーⅢ	八代市坂本町で球磨川流域の写真を撮り続けたアマチュアカメラマン故・東儀一郎氏のネガを整理し、展示するアーカイブ写真展を開催。坂本町は、産業、林業の歴史、人口減での限界集落化、国内初のダム撤去など小さな地域ではあるが、現在日本が抱える問題の縮図のような地域でもある。保存することが最終目的ではなく、もっと一般市民に広く開かれ、これからさらに変貌するだろう坂本の町を考える時の一つのきっかけとして、地域で活用され、地域へ還っていくような活動をしていきたい。	200,000	50,000
8	ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団 熊本公演2023実行委員会	ウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団熊本公演2023	令和5年12月26日(火) 市民会館シアーズホーム夢ホール	現在も戦禍にあるウクライナ。その地で1995年に設立されたウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団は、2005年の初来日以来、毎回絶賛を博し、各地でソールドアウトが続出する人気の交響楽団である。「武器はいらない。なぜなら私たちには楽器があるから。私たちの武器は音楽」と強い決意を込めて語る音楽監督のミコラ・ジャジュラの指揮のもと、300名規模の熊本の有志と共に、平和の賛歌を歌い上げる。熊本も幾多の困難に遭遇しながら、不屈の心で故郷を再生してきた。今この時、決して屈さぬウクライナと熊本の魂を「歓喜の歌」に乗せて届ける。本企画は、ウクライナ支援に加えて熊本の文化振興にも裨益するだろう。	13,950,000	300,000
9	合唱団 いひゅうもん	15min.コンサート vol.2	令和6年2月23日(金・祝) 九州ルーテル学院大学チャペル	「合唱団 いひゅうもん」とは、「熊本に新しい合唱団つくるぞ」という勢いの下、当時大学生だった団員が主に立ち上げた全く新しい混声合唱団である。週に一度、練習を行い、定期的に演奏会の開催やコンクールへの参加、病院等への慰問演奏を行っている。今回は、合唱を通して地域の活性化を図ると共に、熊本の音楽文化等の発展・普及に寄与するという趣旨のもと、小学校の合唱部から社会人合唱団までの5団体が集い、15分ずつ合唱を行う演奏会を行う。	290,328	50,000
10	九州ふるさとコンサート実行委員会	ふるさとコンサート 音の和 あーた、よか演奏聴きにきなっせ	令和5年12月10日(日) 嘉島町民会館ホール「アクア」	九州で活躍する若手演奏家を中心に開催。民謡や聴き馴染みのある楽曲を取り入れることで老若男女問わず、幅広い年齢の方に楽しんで頂き、表現者の力と県民の豊かな心を育むコンサートを開催する。主に熊本県にゆかりのある演奏家(熊本県出身、在住者)を選抜。人里離れた場所で行い、地域を盛り上げることを趣旨としている。	707,000	100,000
11	日本舞踊伝承の会実行委員会	第2回 日本舞踊 伝承の会	令和5年10月22日(日) 熊本県立劇場 演劇ホール	熊本県内の日本舞踊家の連帯をより一層強めることにより、最大の課題である「後継者・若手の育成」の問題を解決しようと、平成30年に第1回を開催。今回2回目の開催。熊本復興への力強い歩みを、伝承の道を通して熊本から全国へ発信すること、日本舞踊(伝統芸能)の後継者育成を目的としている。1回目の会で発足した「伝承・つぼみ會」は、毎年中学生までの子供達対象に公演を実施しており、昨年よりユースクラスも設立しより多くの子供達を対象にした。今回も多くの子供達の出演が決まっている。	11,350,000	300,000
				(計)	30,912,578	1,550,000